

IT・ユビキタス社会論

科目ナンバリング POI-201
選択 2単位

藤田 昌克

1. 授業の概要(ねらい)

「いつでもどこでも」、「何でも誰でも」がネットに繋がるユビキタス社会を迎えています。そのインフラを支えるIT技術やサービスにはどのようなものがあり、ユビキタス社会によって、何が変わり、何ができるようになるのか？本授業では、実例を交えながらITユビキタス社会を概観します。

2. 授業の到達目標

- (1) IT・ユビキタス社会を支える基本技術／様々な用語を理解し、説明できる
- (2) IT・ユビキタス社会に関連するB2B事業を展開する企業についての情報を自分で調べ分析できる
- (3) IT・ユビキタス社会に起こるさまざまな課題を分析し、IT技術を応用した解決策を案出できる

3. 成績評価の方法および基準

毎回の課題(30%)、学期末プレゼン(30%)、学期末テスト(40%)を総合して評価します。(ただし学期末テストを受けるには、授業への必要回数以上の出席が必須です。詳細は開講時に指示します)

4. 教科書・参考文献

参考文献

西垣通・伊藤守編著 『よくわかる社会情報学』 ミネルヴァ書房

その他、適宜参考書籍、文献などを指定します。必要に応じてハンドアウト資料を配布します。

5. 準備学修の内容

授業で採り上げたテーマに関連する企業についての調査などを課題とします。授業時間内に課題を完成できなかった場合、授業の翌々日までで完成させて提出してください。欠席した場合もテキストや授業資料を参照し、同様の期限までに課題を提出してください。

6. その他履修上の注意事項

- ・教室設備の都合上、受講者数に定員を設けます。第1週に受講人数を確認するので必ず出席してください。
- ・外部講師による「IT事業スタートアップの事例紹介」を予定しています。
- ・授業最終フェーズにグループワークによる「ITサービスの企画提案」を行います。
- ・IT関連分野のいろいろな会社や事業に興味を持ち、自ら評価する方法を修得してください。(IT関連分野への進路希望有無は問いません)

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション
- 【第2回】 社会システム(1) オンラインショッピング
- 【第3回】 社会システム(2) ブロックチェーンとFinTech
- 【第4回】 社会システム(3) ビッグデータとクラウド
- 【第5回】 コミュニケーション(1) 通信と放送
- 【第6回】 コミュニケーション(2) コンテンツ制作
- 【第7回】 コミュニケーション(3) AIと社会
- 【第8回】 マクロ社会情報技術(1) IoT(Internet of Things)
- 【第9回】 マクロ社会情報技術(2) デジタルコンテンツと文化
- 【第10回】 マクロ社会情報技術(3) 情報セキュリティ
- 【第11回】 マクロ社会情報技術(4) 知的財産権
- 【第12回】 情報技術と近未来(1) これからのIT職種／ITサービスの企画検討1(グループワーク)
- 【第13回】 情報技術と近未来(2) オープンデータ／ITサービスの企画検討2(グループワーク)
- 【第14回】 情報技術と近未来(3) 集合知とメディア／ITサービスの企画提案(グループワーク)
- 【第15回】 まとめ